

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

4

危機管理課

補助金の名称 (規則・要綱名)	自主防災会防災資機材等補助金		
	西尾市自主防災会運営費補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	自主防災会が地域の実情に合った防災資機材を整備する場合に、経費の一部を助成することによって地域防災力の強化を図るものである。		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	6,808,000円	6,500,000円	6,500,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H26	終了年度（予定） H34
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以上である
	※ 補助対象経費の額		
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

4

危機管理課

補助金の名称 (規則・要綱名)	自主防災会防災資機材等補助金 西尾市自主防災会運営費補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	5 自然環境・生活 安全とうるおいのある環境づくり
	項による分類	6 防災
	施策内容による分類	2 地域防災力の強化
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	自主防災会の50%が補助金を活用して資機材を整備することを目標としている。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	平成29年度に118自主防災会が補助金を用いて資機材を整備した。(目標の84.6%)	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られる
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	西尾市民	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	自主防災会	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	大阪北部地震や平成30年7月豪雨により防災意識が向上している。防災意識の高い今、救助工具や避難所での生活用品など補助金を利用して整備してもらいたい。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	自主防災会長により、購入した資機材の写真を添付した実績報告書の提出を求めている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成15年04月01日
	改定年月日(最終)	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

4

危機管理課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	6,808,000円	7,064,000円	6,500,000円	
	補助件数	114件	118件		
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	6,808,000円	7,064,000円	6,500,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の用途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
B	B	B	B	B	B	B
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	現状維持		適正な訓練経費については、全額補助を検討していただきたい。			
補助金等検討委員会の主な意見						
地区の災害に対応した防災資機材の整備目標を定め、整備状況等を把握し、指導助言に努めていただきたい。						
自助・共助は重要である。防災訓練の参加率が悪い地区は参加率を向上するような啓発に努めていただきたい。						
震度や液状化、津波、土砂崩れ、豪雨による浸水など、どの地区がどの災害に弱いかハザードマップを用いた周知に努めていただきたい。						
この補助金を否定する考えはない。補助の方法等に課題があると考え。補助率100%と1/2とあるが100%でも良いと思う。						
購入した資機材の管理や活用についても継続的に報告を求めるなど、中長期にわたり、計画的に地域防災力の強化を図っていただきたい。						